

🌸 同級生やそのご家族へ

更新・確認日：2014年04月22日 [履歴]

履歴

2014年04月22日 2013年7月発行の冊子とがん情報サービスの情報を再編集し、掲載しました。

[閉じる](#)

[同級生へ](#) [ご家族の方へ](#)

🌱 同級生へ

小児がんは人から人にうつる病気ではありません。また、大人のがんとも異なります。昔と違い、よい薬や治療法がふえたので治る病気になってきています。しかし原因はまだはっきりとはわかっていません。

小児がんという病気になると、大きな病院で治療を受けることが必要になります。

がんの治療では薬を使うことが多いので、その副作用で見た目に変化が現れたりします。薬によっては髪の毛が抜ける場合もあります。しかしこれは一時期なことで、髪の毛は生えてきます。また、気を付けていても太りやすくなるなどの影響が出る場合もあります。こうした変化を周りでもらわたりすることのないようにしましょう。

病気により、その人らしさが失われるわけではありません。本人もできるだけこれまでと同じように接してほしいと望んでいるはずです。

しかし、治療が終わってすぐは疲れやすかったり、通院のために学校の授業や行事に参加できないこともあります。治療で休んでいた間は学校の授業を受けられないため、わからないことがあるかもしれません。困っている様子が見られたら、できることを手伝えてあげてください。

入院中にお見舞いに行きたいと思ったときは、家族にそのことを伝えて可能かどうか聞いてもらうようにしましょう。入院中は検査や治療で忙しいことが多く、退院してからも体調によっては、会ったり話したりできない場合もあります。

病気になったとき、気に掛けてくれる人がいるのは、うれしくカづけられることです。負担にならないよう気を付けながら、手紙やメールなど都合のよいときに返事ができる手段を活用するのもよいでしょう。

🌱 ご家族の方へ

年齢的に内容を理解することが難しい場合は、ご家族がお子さんに理解できる範囲で話してみてください。正しい知識を伝えつつ、これまでと同じように接するよう促すことが大切です。

[🏠 まわりの方へ戻る](#)

関連情報

[がん情報サービス](#) [生活・療養](#) [ganjoho.jp](#)

よりよい情報提供を行うために、アンケートへの協力をお願いいたします。

[📧 アンケートページへ](#)